

滝ノ宮

～珍しい形の積石塚祭祀遺跡～

目次

1. おすすめポイント
2. 説明
3. 現地写真
4. あめのいわとわけ天石門別神社
5. ことびき琴弾の滝
6. アクセス

資料
番号

K13

初版：2025.11.4



1. おすすめポイント

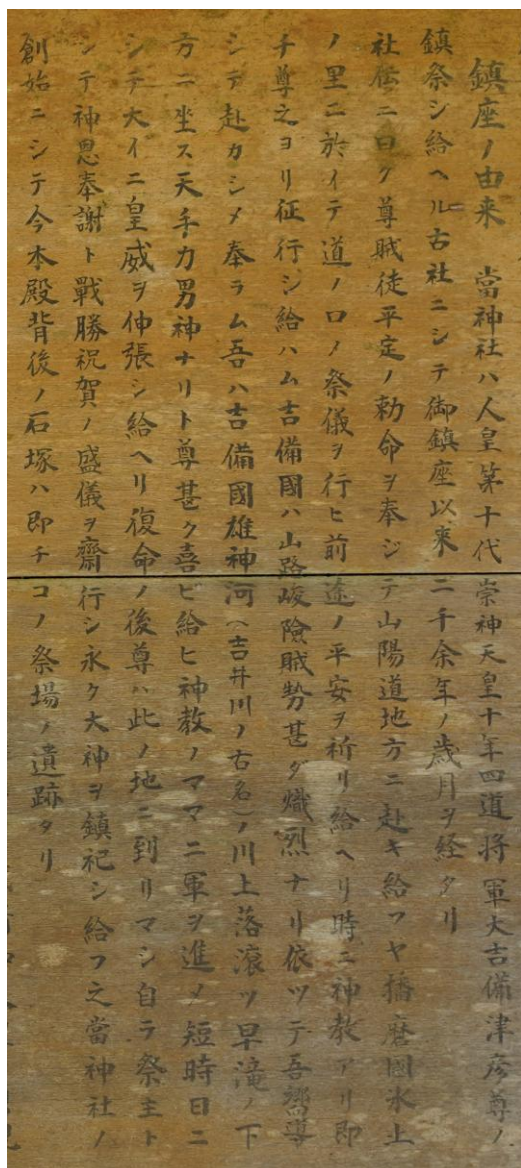
★饅頭のような珍しい形の積石塚

京都 貴船神社奥宮の「御船形石」と良く似た意匠です。何かしら関連があるのでしょうか？

★すぐそばの「琴弾（ことびき）の滝」もおすすめ

特に夏は境内全体に涼感があって最高です。

2. 説明



2-1 図4-2の神社由緒説明板の一部を拡大

神社の由緒説明（左）によれば、

崇神天皇が四道将軍として遣わした吉備津彦尊が祭儀を行ったところ「我の導きに從え」との神教があった。そのおり「我は雄神河（吉井川の古名）の上流にある滝の下に座す天手力男神である」と申された。

尊がみごと命達成の後、この地で自ら祭主となって神への奉謝と戦勝祝賀の儀を行った。これにより天手力男神がこの地に鎮まったのが当神社の創始であり、本殿裏の石塚はその祭場の遺跡である。

とのこと

磐座の前に本殿があったようですので、正に古社の典型形態です。

<以下については次頁参照ください>

滝ノ宮磐座は饅頭のような石積の非常に珍しい形で京都の貴船神社奥宮にある「御船形石」と良く似た意匠です。御船形石は「玉依姫御料の黄船を人目を忌みて小石で覆った」と説明されていたので、本磐座も同様に「神石」を人目から避けたり、触れられないように石で覆ったものと考えられます。



京都 貴船神社の御船形石 2015.7.27



3-2

3-1 「御正殿旧跡」の石碑があります（上図左側）。
「磐座の前に社殿」の古社典型形態だったようです。



3-3

滝ノ宮磐座

あめのいわとわけ
4. 天石門別神社

2020.6.7



4-1

社殿は近くに建設されたダムによる水没を避けるため
高い基壇のうえに移設されています。

由緒

祭 神 當神社祭神ハ天子カ男神ニ坐シ神代ノ昔天吉戸ヲ開キ
後武ノ皇孫ノ神トシテ大カサリシ神ナリ今長クモ伊勢皇大神宮御正殿内
御神座ニ由來 當神社ハ八皇第十代崇神天皇十四代崇神天皇古備津彦
鎮座シタル古社ニシテ御鎮座以來 二千余年ノ昔より経テリ
社殿ニ由リ尊氏氏平定ノ勅命ヲ奉シテ山陽道地方ニ赴キ給フヲ備津彦
ノ里ニ於テテ道ノ口ノ祭儀ヲ行ヒ前進ノ平安ヲ祈リ給ヘリ時ニ神教アリ即
チ尊之ヨリ延行シ給ハム吉備關ハ山險險峻勢甚ク難ナリ故テ春祭
シテ起カシテ奉ラム吾ハ吉備國雄神河 吉備川ノ右岸ニ上洛ヲ早湯ノ下
方ニ坐ス天子カ男神ナリト尊甚ク喜ビ給ヒ神教ヲマテ二軍ヲ遣フ時日ニ
シテ大ニ皇威ヲ伸張シ給ヘリ復尊ハ此ノ地ニ到リマシ自ラ祭主ト
シテ神恩奉謝ト戰勝祝賀ノ儀儀々齋行シ永ク大神ヲ鎮祀シ給フ之當神社ノ
創始ニシテ今本殿背後ノ石塚ハ即チコノ祭場ノ遺跡ナリ
皇室ノ御尊祭 古來皇室ノ御尊祭一万余年ノ昔五十六代清和天皇ノ貞觀
五年五月神階從五位上ニ進ミラレ給ヒシコト正史ニ明文ナリ之今ノ距ル
千五百年前ノコトナリキ降ツテ第六十代醍醐天皇延喜七年通嘉式ノ制定ニ
當リテハ全國神社中ヨリ撰ハレシ二八六一社中ニ列スルニ春秋ニ季ノ大祭
ノ國費ヲ以テテ齊祀ノ儀儀々三ノ宮トシテ境内ノ不煩九ノ西郡東西南北各五
中ニ島居ヲ建立シテ聖俗ヲ明セラルルト共ニ神田十四宮ヲ賜フ祭儀
ヲ二虎テ給ヘリ現ニ氏子横山ニ島居田反ヒ作東町儀々谷ニ神田一ノ宮
ナル地名ノ存スルハイゾレモコノ島居ノ古蹟ニシテ町内真神ニ神田一ノ宮
ト稱スルモ在ルハコノ時附キセラレシ神田一ノ宮此處ニ在リシコトノ
証ナリ直ニ頃ヲテ此ノ地ニ流シ宮一ノ島居跡トテ小室宮アリ古來氏子五
域ヲ十町ト謂ヘル由來五亦コニ存スト云フ

武將英二領主ト神社 武威興隆ノ古ニ在リテ武將ノ崇敬頗ル厚ク鎮
則地テ地親族谷氏或ハ社殿ヲ改メ或ハ神ノ神具祭儀ヲ改メセルコ
ト古書ニ明ナリ然レドモ天正十八年備前長船村伊母良行當地ヲ所行セ
ルヤ未嘗有ノ暴行ヲ以ツテ神田ヲ始メ社有資産ノ一ニテテ没收スルコト
社勢微ニ衰頽住者ヨリ伝承セル四月春季大祭ノ天女使女神事之月晦ヨリ
夜祭九月九日ヨリ十日間ニ渉ル秋祭大祭ノ期ニ至ルハ變ニ遠隔ノ地ナリ
皇徳大寺極メテ諸祭儀ニ再ビ行フニ由チテ減失セルハ變ニ遠隔ノ地ナリ
慶安八年森忠政津西城ニ入ルヤ厚ク當社ヲ敬仰シ年々社殿五十石ヲ
ノ齋居者守長俊元祿四年本殿改築ノ工ヲ起シ今十年二月竣工ノ人
殿ナリ

民衆ノ信仰 氏子ヲ始メ大衆亦深ク信仰シ殊ニ夏祭ヲ奉テ至ルハハ
春祭シテ而テ新ルヲ例トス又大神ノ伊勢神宮ニ共祭セラレル地ニ依リ
セト名ス者ハ遠近ヲ關ハス先ク當神前ニ願ヒテ子孫ノ平安ヲ祈リ
出祭シ神速ニハ祭馬ヲ奉メテ之ヲ社前ニ献シ以テテ報賽ノ誠ヲ盡シ
二登島祭ニ揚グルモノ中ニ大ナルハ概ハ奉告ノ礼ニ依リテモノニシテ
神社ノ交通安全祈願祭ノ基ナリトス

明治十二年果社ヲ指定セラレ以テテ祭職ニ及ブ
昭和四十二年九月附近ニ果社ダム建設ヲ欲アリ之カ能成ルニ至ルハ水没
ベキヲ憂ヘ今五十二年一月起工巨費ヲ投シテ地機機務公事ヲ行フ春
祭ニテ奉メ入二島居ニ社標碑ヲ建立シ以テテ除古ノ大祭ノ改行セ

維時昭和五十五年六月吉辰

天石門別神社

英田町文化財保護委員会

天石門別神社 由緒説明板

5. 琴弾（ことびき）の滝

2020.4.19



5-1

上が雄滝、下が雌滝

吉井川に流れ込む河会川の上流にある滝です。
磐座のすぐ先です
那智の滝のように滝自体がご神体だった可能性も

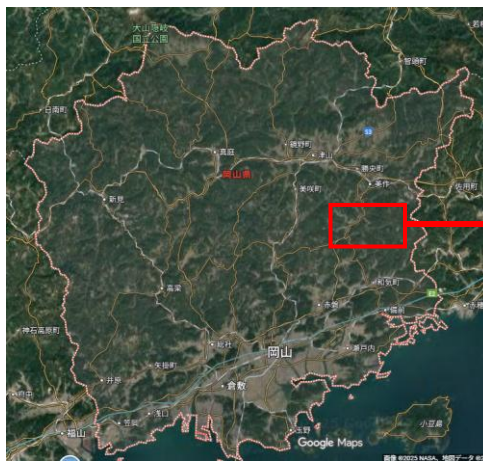


5-2

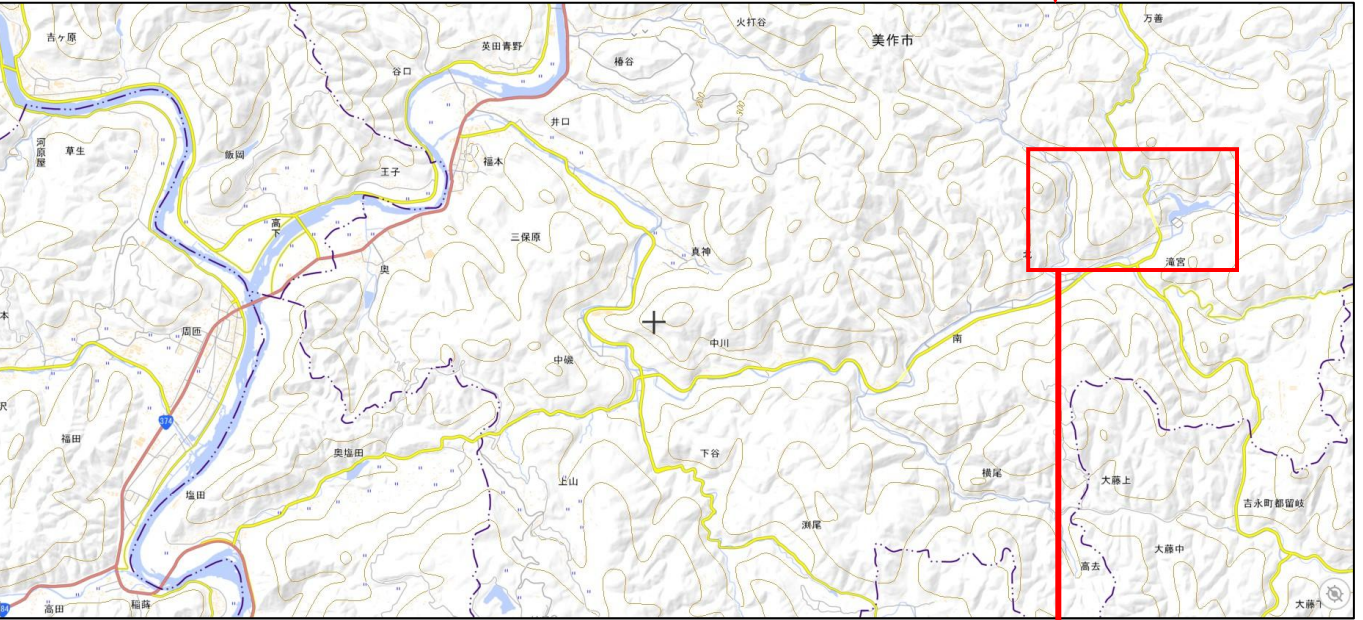
現地説明板

6. アクセス

6-1



N
4
+



6-2 吉井川



6-3

地理院地図
に赤で追記



現地説明板

地図部分拡大

磐座に黄色矢印追記

6-4



6-5